

J PFP 国際人口問題議員懇談会

Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.8-9 合併号 November 2013

● JFPF 新会長に谷垣禎一衆議院議員が選出

昨年12月の衆議院選挙における福田康夫会長の議員引退に伴い、空席となっていたJFPF新会長に谷垣禎一衆議院議員が選出されました。会長職は総会決議に基づき、福田名誉会長による推薦を受け、11月14日(木)参議院会館会議室で開催された国際人口問題議員懇談会臨時総会で、満場一致で選出されました。

谷垣新会長は、「人口問題は、あらゆる地球規模的課題の基盤であり、この問題を解決に向けることなく、抜本的な解決はありえないと考えております。この分野における超党派議員活動は世界に先駆けて日本が創始した活動であり、アジア地域の議連を含め、世界の地域議連のすべてが日本のJFPFの働きかけによって作られています。“人口問題は強制することのできない問題である。したがって国民の代表である国会議員が積極的な役割を果たすべきである”というその理念は、今こそ輝きを増していると思います。この限られた地球の中で生きるものとして、そして国会議員として自国の未来に責任を持つものとして、未来を明るいものとするために働いていきたいと考えております。」と決意を述べました。

● AFPPD 新議長に武見敬三参議院議員が選出

同じく、昨年の衆議院選挙における福田康夫会長の議員引退に伴い、空席となっていた「人口と開発に関するアジア議員フォーラム(AFPPD)」議長に、10月18日(金)フィリピン・マニラで開催されたAFPPD運営委員会において、武見敬三参議院議員が選出されました。

武見議員は「これまでAFPPDが築きあげてきた国際的な人口と開発に関するネットワークは、人口問題の解決、持続可能な開発の実現に向けて非常に大きな意味を持っています。ネットワークをさらに活性化することで、AFPPD設立の目的を果たしていきたいと思います」と抱負を述べました。

人口と高齢化に関する国際国会議員会議(IPCA)

—経済的に活力のある健康長寿社会の実現を目指して—

● 講演内容



11月18日(月)～19日(火)に『人口と高齢化に関する国際国会議員会議(IPCA)』を衆議院第一議員会館・国際会議室で開催し、20日(水)には江戸川区の取り組みを視察しました。

このプログラムは、国際人口問題議員懇談会(JFPF)・公益財団法人アジア人口・開発協会(APDA)主催、国連人口基金(UNFPA)共催、世界各地の地域議連である「人口と開発に関するアジア議員フォーラム(AFPPD)」、「人口と開発に関するアメリカ議員グループ(IAPG)」、「ヨーロッパ人口・開発議員フォーラム(EPF)」、「人口と開発に関するアフリカ議員フォーラム(APFPD)」および、日本国外務省・国際家族計画連盟(IPPF)の後援で開催されたものです。

非西欧で初めて人口転換を達成した日本は、その結果として、世界で最も高齢化率の高い国となっており、既存の人口構造を前提として制度設計された年金・社会保障などの財政負担の問題などをはじめ、様々な課題への対処が求められています。これは近い将来、日本に続いて人口転換を達成した各国が直面する課題でもあります。

この問題に対処するために、いま我が国が達成した国民皆保険制度、高齢社会への対応や社会保障制度等について、その経験を移転するとともに、アジアをはじめとする世界各国との支援協力体制を構築・強化し、新しい視点に基づく制度設計が求められています。

本会議は、高齢化を人口と持続可能な開発という視点から位置づけ、高齢社会の様々な側面を検討し、日本の経験や対処を通じて具体的な対策の可能性を探ることを目的として開催されました。

会議には、世界すべての地域から32か国の国会議員、国内委員会事務局、国際機関等100名以上が参加されました。会議の詳細を次号以降に皆様にお伝えします。



国際人口問題議員懇談会(JFPF)事務局
(公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>